

学年：高校2学年 1学期 科目：理数探究（富士未来学Ⅴ）

対象：ポスター

- ①研究課題 ②研究の動機 ③背景 ④目的 ⑤仮説 ⑥方法 ⑦結果と考察、今後の展望
⑧引用文献

ルーブリック（評価基準表）

項目番号	育成したい資質・能力	パフォーマンスの観点	評価の観点	評価の対象	高いレベル	実力がある	一部に課題あり	Ⅰ 自己	Ⅱ 他者	Ⅲ 自己	Ⅳ 教員
					A	B	C				
1	挑戦力	価値創造	主体的に学習に取り組む態度	②	研究を始めた動機（きっかけ）について記述している。また、自己の課題研究における社会的な意義を、自分なりの考えを基に記述している。	研究を始めた動機（きっかけ）について記述している。また、自己の課題研究における個人的な意義を、自分なりの考えを基に記述している。	研究を始めた動機（きっかけ）について記述している。				
2	理数的発見力	調査比較	思考・判断・表現	③ ④ ⑧	調査した複数の先行研究についてまとめ、その出典も明記し、引用の仕方も適切である。また、先行研究で明らかになったことと、まだ明らかでない課題を明記し、研究の目的を設定している（新規性）。	調査した先行研究についてまとめ、その出典も明記し、引用の仕方も適切である。また、先行研究で明らかになったことと、まだ明らかでない課題を明記し、研究の目的を設定している。	調査した先行研究についてまとめ、その出典も明記し、引用の仕方も適切である。また、研究の目的を設定している。				
3	理数的発見力	課題判断	思考・判断・表現	① ⑤ ⑥	調べて分かるものではない研究課題を設定している。また、独立変数と従属変数を兼ね備えた、検証可能な仮説を設定している（実証性）。	調べて分かるものではない研究課題を設定している。また、独立変数と従属変数を兼ね備えた仮説を設定している。	調べて分かるものではない研究課題を設定している。また、独立変数と従属変数を兼ね備えていない仮説を設定している。				
4	理数的発見力	仮説説明	思考・判断・表現	⑤ ⑥	同一の条件の下で繰り返すと、同じ結果が得られるような観察や実験、調査を計画しており（再現性）、回数または範囲が適切である。条件を制御して、観察や実験、調査を実施する計画を立てている。検証方法を図や表を用いて表現しており、キャプションの位置や書き方が適切である。	同一の条件の下で繰り返すと、同じ結果が得られるような観察や実験、調査を計画しており（再現性）、回数または範囲が適切である。条件を制御して、観察や実験、調査を実施する計画を立てている。検証方法を図や表を用いて表現している。	同一の条件の下で繰り返すと、同じ結果が得られるような観察や実験、調査を計画しており（再現性）、回数または範囲が適切である。				
5	理数的解決力	計画実践	思考・判断・表現	⑦	観察や実験、調査の結果と考察を図や表を用いて表現しており、キャプションの位置や書き方が適切である。また、現在の課題とともに今後の展望を記述している。	観察や実験、調査の結果と考察を図や表を用いて表現している。また、現在の課題と今後の展望を記述している。	観察や実験、調査の結果と考察を記述している。				
					観察や実験、調査の予定を期日とともに表を用いて記述しており、キャプションの位置や書き方が適切である。また、現在の課題とともに今後の展望を記述している。	観察や実験、調査の予定を期日とともに表を用いて記述している。また、現在の課題とともに今後の展望を記述している。	観察や実験、調査の予定を記述している。				

※ Cに満たない場合はDとする。

以下の項目について点検しましょう。

- ☐ ポスターとして見やすいレイアウト、適切な文章の量になっているか。
- ☐ 文章中に誤字や脱字はないか。
- ☐ 引用文献の記載の仕方は適切か。

①他者のコメント（記入者）
※「事実（現状）」と「こうしたらもっと良くなる」の2文程度

②他者評価を受けて改善した点

項目番号 1

項目番号 2

項目番号 3

項目番号 4

項目番号 5

③相互評価活動によって、どのような力が身に付いた、または向上したと感じているか（C-learning）

④③の力は、相互評価活動以外のどのような場面で、どのように生かすことができるか（C-learning）

⑤教員のコメント（記入者）
良い点

改善した方が良い点